

芹田地区の公共施設整備について

芹田公民館
芹田支所
(仮称)中部保健センター

平成27年11月24日

教育委員会 生涯学習課
市民生活部 地域活動支援課
保健福祉部 保健所健康課

芹田地区の公共施設位置図



芹田公民館改築、第三・第四・第五・芹田地区ブロック への保健センター整備に係る要望等の主な経緯

H10年以降 芹田地区から元気なまちづくり市民会議等において、総合市民センター及び保健センター建設の要望(継続)

H24年3月 芹田地区住自協会長、芹田総合市民センター期成同盟会長連名で、公民館の改築及び保健センターの整備について市長要望

H25年2月 保健センターを芹田地区内に整備する案について、第三・第四・第五地区の住自協役員会です了承

H26年9月 第三・第四・第五・芹田地区の住自協会長連名で、芹田地区内への保健センターの早期整備について市長要望

H27年6月 市議会で(仮称)芹田総合市民センター及び芹田地区内の保健センター整備の進捗状況についての一般質問があり、「現在関係課で協議をしており、早期整備に努める」と答弁

H27年10月 「生き生き芹田みんなでトーク」において、芹田公民館と芹田支所の総合市民センター方式での建設の要望

(仮称)中部保健センター整備の必要性

長野市における保健センターの整備状況

- ・旧市内を9つの保健福祉ブロックに分け、各ブロックに1か所ずつ保健センターを整備する計画に基づき、旧市には8か所整備した。合併で4か所が加わり、12か所となった。
未整備のブロックは、第三・第四・第五・芹田地区のブロックのみとなっている。(整備計画：老人保健福祉計画→あんしんいきいきプラン21)

保健センターの機能

- ・地域住民の身近な健康づくりの支援拠点
 - ① **地域の子ども・子育て支援**・・・発達支援あんしんネットワーク、健診等
 - ② **健康寿命の延伸**・・・生活習慣病予防、ロコモティブシンドローム予防等
 - ③ **災害時の避難所運営支援**・・・避難所の健康・栄養相談、心のケア等

西部保健センターの規模が過大

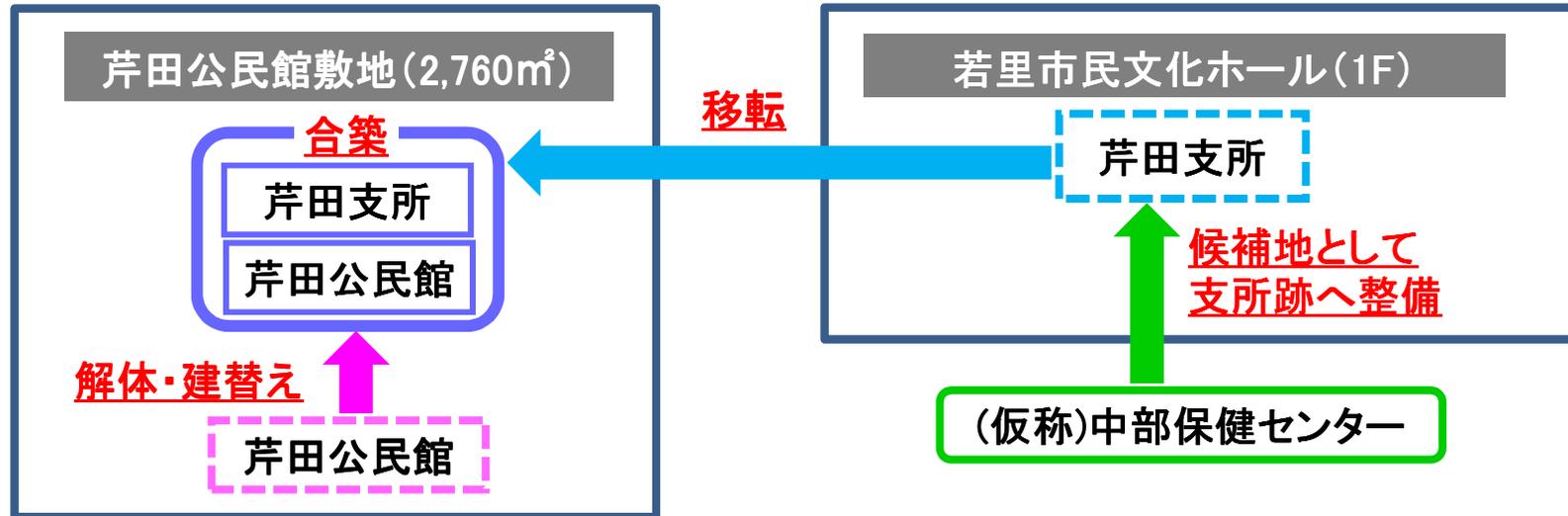
- ・所管区域：安茂里・小田切・七二会・信州新町・中条・**第三・第四・第五・芹田**地区
- ・管内人口合計：71,922人(40,559人[※])(H27.1.1現在)
- ・管内保育所・幼稚園数：保育所17・幼稚園5(保育所10・幼稚園3[※])

※()内は、第三・第四・第五・芹田地区



西部保健センターの所管区域を分離し、第三・第四・第五・芹田地区ブロックに保健センターを設置し、規模の適正化を図る。

整備計画(イメージ)と主な検討項目



- 公民館と保健センターを個々に建設するよりも建設コストの縮減が可能。
- 保健センターの整備には国・県からの補助金がないため、既存施設改修により整備費を抑制。
- 生涯学習と住自協の活動拠点の一体化によって、地域コミュニティ活性化に更に寄与。
- 保健センターについては、近くに長野赤十字病院、児童発達支援センター「にじいろキッズらいふ」がある立地を活かし、子ども・子育て支援の充実を図るため、妊娠期から育児期にわたるワンストップ拠点(子育て世代包括支援センター機能)として整備。
- 発達に何らかの問題がある子どもが増えており、保健センターを拠点に関係者・専門家が一堂に会して情報を共有し、子どもや保護者への総合的支援を推進。
- 他の保健センターと比べて床面積が狭く、栄養指導室を設置できないため、新公民館の料理教室又は市保健所の栄養指導室の兼用を検討。

整備手法によるコストの比較(試算)

5ページの整備計画イメージ(支所・公民館合築、支所跡に(仮称)中部保健センター整備)に基づく建設コスト

整備手法	延床面積	公民館等 建設費	保健センター 建設費等	合計	財源※
<ul style="list-style-type: none"> ・支所と公民館を合築 ・支所跡へ保健センターを整備 	公民館・支所 1,500㎡	公民館・ 支所合築 723百万円 (482千円×1,500㎡)	改修工事費 15百万円 備品費 10百万円 用地費 0円	748百万円	交付金 119百万円 起債 496百万円 一般財源 133百万円
<ul style="list-style-type: none"> ・公民館は単独で建設 ・支所は現状維持 ・保健センターは新設 	公民館 1,000㎡ 保健センター 1,100㎡	公民館単独 482百万円 (482千円×1,000㎡)	建設費 550百万円 (500千円×1,100㎡) 用地費 190百万円 (63.3千円×3,000㎡)	1,222百万円	交付金 178百万円 起債 267百万円 一般財源 777百万円

※交付金は、社会資本整備総合交付金を想定

※起債は、公共事業等債を想定(充当率90%、後年度交付税措置20%)

※芹田児童センターの土地売却収益は、公共施設の整備・改修費の一般財源として活用

公共施設マネジメントの考えに基づく施設再配置

5ページの整備計画イメージ(支所・公民館合築、支所跡に(仮称)中部保健センター整備)に基づく周辺施設の延床面積の比較

既存施設の再編

(既存) 施設名	延床面積
芹田公民館	861m ²
芹田支所※1	780m ²
芹田小学校 第二体育館※2	675m ²
芹田児童センター	670m ²
合計	2,986m ²

再配置
409m²
縮減

(再配置後) 施設名	延床面積
芹田公民館・支所	1,500m ²
芹田小学校 多目的棟	1,077m ²
合計	2,577m ²

※1 若里市民文化ホールの共用部分の面積を含む
※2 H26年3月解体済み

新規施設の整備

既存施設を改修し活用

施設名	延床面積
(仮称)中部保健センター	780m ²

整備スケジュール

5ページの整備計画イメージ(支所・公民館合築、支所跡に(仮称)中部保健センター整備)に基づく整備スケジュール

施設名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
芹田公民館・ 芹田支所		基本設計	実施設計	建設工事	業務開始 旧公民館 解体工事
(仮称)中部 保健センター				実施設計	支所移転 改修工事 業務開始

社会資本整備総合交付金計画期間: H27年度~H30年度